

## 小児の患者さん(小学6年生以下)の診療について

当院ではこれまでご要望に応じて、小児喘息など呼吸器疾患に限り、小児科領域の診察をしてきました。しかし、子供と大人では体の状態が異なり、同じ病名でも治療方法が異なる場合があります。また、小児の診療には自分の症状を上手く伝えられない子供を適切に診察するというスキルが求められます。

私を始め、当院で勤務する医師は、内科・呼吸器内科の専門の医師ではありますが、小児科のトレーニングを積んでおりません。よって、小児特有の疾患を見逃してしまう可能性があります。また当院では、問診をしながら診断を絞り込み、その診断の裏付けを得るために『検査』をすることが、治療するにあたって必要不可欠だと考えております。小児の患者さんにはその検査自体が難しく、診断を裏付けるための根拠を得ることが出来ません。検査することなく、知識と経験だけで治療するのは非常に難しいのが現状です。やはり、小児は小児専門医に診ていただくのが一番だと考えます。

小児の患者さんの受診希望をいただくことは大変嬉しいことではありますが、以上のような理由から当院では小児の患者さん(小学6年生以下)には小児科への受診をお願いしております。

ご理解をいただければと存じます。

医療法人温心会 おがわ内科呼吸器内科医院

院長 小川 栄治